

ライフリー いきいき通信

CONTENTS.....

カバー・トピック ライフリー商品はこうして生まれる!

病院・施設訪問 帝塚山福祉会 介護老人保健施設 雅秀苑

QOLの向上を願う すべての人を想い、 排泄ケアの未来をひらく



開発の道のり1

商品進化のヒントは介護現場にある

ライフリー商品開発の出発点は、介護現場の声を直に聞き、排泄ケアの現状を自らの目で確認すること。使用済み商品をつぶさに調べることはもちろん、介護施設にも足繁く通います。たとえばモレ率を従来の1/4にまで低減したりハビリパンツの「すきまピタッとギャザー」。実際に何百人ものおむつ交換に立ち会って装着状態のズレを計測・分析し、足ぐりのフィット感を徹底改良したことで生まれた新技術です。「ヒントは介護現場にあり」なのです。

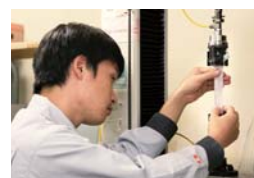
開発の道のり2

試行錯誤の果てに生まれる理想のカタチ

求める理想をどうカタチにしていくか? コンセプトを立てた後は、考えつく限りのアイデアを盛り込み、試作します。パッドやおむつ全体の形状、ギャザーの伸縮度合いや長さ、さらには素材を構成する繊維1本1本に至るまで、あらゆる側面から吟味し、調整を重ねます。試作品づくりも開発者の大切な仕事。「自分の手を動かし、丹念につくる中で



はじめてわかることは多いんです。気づきと工夫を何度も繰り返して改良を加えます。難しい課題でも必ず突破口はありますから」とは、ある若い開発者の言葉です。



開発の道のり3

最先端の人型ロボットと“実感”での検証

でき上がった試作品は、厳しく検証・評価します。そこで活躍するのが独自開発した等身大ロボット(上写真)です。人肌と同じ質感、排尿機能を持ったロボットに試作のおむつをはかせ、座位や臥位、歩行などさまざまな姿勢、挙動でズレや吸収状態などを観察。さらに開発者自身が装着して車椅子に座ったり、終日過ごしたりという検証も。科学的な数値データと、曰く言いがたい人の感覚。その両面で、利用者様や介護スタッフの方に納得いただける商品を追求するのです。排泄ケアの今を支え、未来をリードする商品をつくりたい——ライフリー商品開発者の想いはひとつ。熱い情熱を傾けながら、今日も飽くなきチャレンジを続けています。





病院・施設訪問

おむつ交換回数を見直し、個別ケアの推進力に

帝塚山福祉会 介護老人保健施設

雅秀苑 (大阪市住之江区)

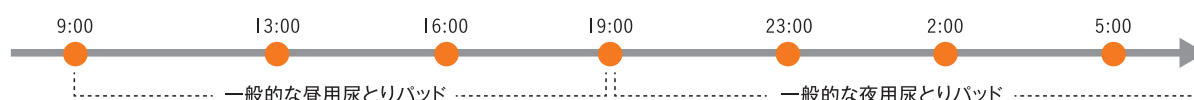


“質の良いケアを提供し、やさしく生命(いのち)をまもります”という理念のもと、質の高い介護サービスを提供している雅秀苑では、ライフリー商品の導入を機に、それまで7回だったおむつ交換を3~4回へと大幅低減しました。導入当初は半信半疑だったものの、取り組みを進めるうち、“より質の高い排泄ケアが実現できる手応え”が得られたとスタッフの皆さんは口を揃えます。モレ率やスキントラブルの低減、業務負担軽減から生まれる“笑顔の連鎖”など、取り組みがもたらした数々の変化をご紹介します。

ライフリー商品を導入し、排泄ケアの個別化を実現するまで

これまでは

頻回な交換が利用者様のためだと考え、**1日7回交換を実施。**
パッドを重ね当てることも



以前はこんな悩みや課題が…

朝の
送り時のムードが
いつも暗い



昼間も何となく眠い



ルーティーン的に
交換してしまう

認知症の利用者様の
BPSDが気になる

何度も起こされて、
よく眠れない



● スタッフの声
● 利用者様の声

そこで!

ライフリー商品(一晩中安心さらさらパッド、おしり洗浄液Neoなど)を導入

けれど、導入当初は半信半疑…

7回が当たり前だったのに、
こんなに減らして大丈夫?



? ちゃんと尿を吸い取って
くれるかな?

パッドの選択肢がぐんと広がった!
でも使い分けできるかな?

陰洗が
大変にならないかな?

最初は、交換回数を減らすことに不安も…。

今では、**排泄ケアの個別化**が進み、スタッフの意識も向上!

介護係長 塚田 誠義さん

7回交換、パッド2枚重ねが当たり前だった私たち。最初は「こんな少ない回数で大丈夫?」と半信半疑でした。ところが心配していたモレはおろか、**却って排泄ケアのレベルは格段にアップしました。**ベテランほどケアは我流になりがちですが、ユニ・チャームさんとの勉強会で基本に立ち返った適切な手法を学んでいることも大きいと思います。そのつど利用者様の状態や表情をよく見るようになり、尿量に合わせたパッドを使うことで、**丁寧かつ個々人の排泄パターンに則った個別ケアが実現できるようになりました。**排泄ケアに対する私たちの取り組み意識も向上しています。今後も施設一丸となり、利用者様本位のケアを進めていきます!



今では

4回交換（一部では3回交換）を実施



交換回数低減や洗浄液の導入によって…

BPSDの申送りが減った!



スキントラブルが落ちついた!

よく眠れるから、日中のレクリエーションも楽しい!



モレなくて安心、さらさらで快適!

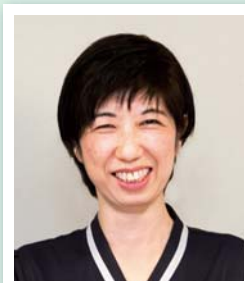


次は「パンツ化」にトライしよう!

● スタッフの声
● 利用者様の声

良眠確保、スタッフのゆとり創出を実現! 施設全体に“笑顔の連鎖”が広がりました

看護部長 太田 富美子さん



おむつ交換が7回だった頃、夜勤スタッフは朝の申送りに疲れ切った表情で臨んでいました。絶え間ないおむつ交換やトイレ誘導、認知症の利用者様のBPSDへの対応など、心身に重い負担が生じていたのです。何度も起こされる利用者様もよく眠れず、睡眠薬に頼りがちでした。それがライフリー商品導入を機に、思い切って交換回数を減らしたことで、**スタッフに時間と気持ちのゆとりができ、申送り時の表情もすっきり穏やかに。**そうした気分はともに働く他のスタッフや利用者様にも連鎖します。昼夜にわたりスタッフの笑顔が増え、ケアの質もぐっと向上したと感じます。**BPSDや睡眠薬服用による転倒のおそれが減り、褥瘡の発生率も低くなったおかげで利用者様には日々より健やかに過ごしていただけるようになりました。**

さらに!

数々の効果を実感し、さらなる取り組みを推進中!

各階スタッフの声

清潔ケアが充実し、快適にぐっすり

3階担当 玉城 実さん(右)
吉山 洋一さん(左)



3階は認知症の利用者様のフロアです。長くベッドで過ごされる方も多く、スキントラブルには苦慮していました。さらさらなパッドと洗浄液の活用によって肌がきれいになり、利用者様にはぐっすり眠っていただけるようになりました。

モチベーションが上がり、次はパンツ化も視野に

6階担当 合田 敬さん



パッドの選択肢が増えたので「これを利用しない手はない」と、みんなで知恵を絞って、パッドリストをカラーで作成。「見える化」の結果、ケアの標準化が進み、スタッフの取り組み意欲も増しました。今後は「パンツ化」も視野に、自立排泄支援に注力していきたいと思います。

3回交換でもモレの心配を解消

4階担当 本村 祐二さん



4階では3回交換を実施中ですが、長時間の利用でも、懸念していたようなムレはなく、尿量が多くてもモレることはありません。何より利用者様の体の負担が軽減されたことが嬉しいですね。私たちにも時間的ゆとりができました。

食事+排泄の3回交換で、生活リズムも整うように

5階担当 吉尾 誠さん



1日3回交換になって、朝昼晩の食後しばらくして排泄というパターンが確立できました。生活リズムが整ったことで夜の中途覚醒も減り、利用者様は日中も柔らかな表情で過ごされるように。時間管理がしやすくなって、私たちの業務効率も上がりました。

特許登録件数 業界No.1^{※1}

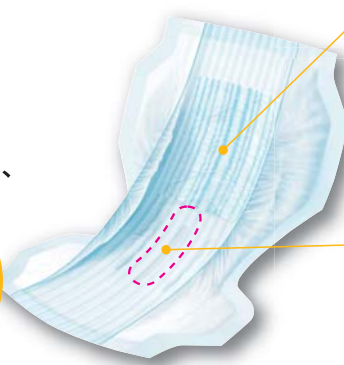
夜間良眠を確保し、時間と気持ちのゆとりを創出する

一晩中安心さらさらパッド

世界初の
特許技術^{※2}

なみなみシート[®]

不純物の混じった混濁尿でも、
スピード吸収で
モレ安心。



特許技術

さらさらドライシート

なみなみシート[®]とのWの効果で、
ライフリー史上
最高級のドライ性を実現!

特許技術

引き込み吸収ライン

体圧がかかった状態でも
尿を素早く吸収します。

終日パンツで、自立排泄を推進する

リハビリパンツTM

特許技術 スルツとはける
独自の機能!

スルツとゾーン[®]

引き上げ時のおしりの
引っかかりを
低減します。



特許技術^{※3}

すきまピタッとギャザー

足ぐりにふんわりフィットして
すきまモレを低減。

肌にふんわり
面でフィット!



特許技術^{※4}

パッドすっぽりポケット

ギャザー間が広くなり
パッド交換が簡単に。

清潔ケアを充実させ、快適な肌状態を保つ

おしり洗浄液Neo

すすぎいらずの
1ステップで簡単ケア。



さわやかな
石鹸調の香り



リフレッシュできる
グリーンシトラスの香り

超やわらか吸水タオル

清潔ケアの
押し拭き仕上げに。



※1 国際特許分類 (IPC: A41B+A61F (使い捨て吸収性物品)) にて検索された1997年1月1日～2016年12月31日に登録査定を受けた特許件数 (検索日: 2017年2月14日)

※2 湿潤時にも高吸水性を維持できる凹凸シートに採用した大人用尿とりパッドとして ユニ・チャーム調べ 2015年2月時点 主要グローバルブランド製品において

※3 内側にある足回りギャザーの股下に高さを制限しているつまみ部を有するパンツ型使い捨ておむつ ※4 内側足回りギャザーの股下部分にパッドのズレを抑制するつまみ部を有するパンツ型使い捨ておむつ

いきいき通信では、皆さまからのご意見・ご感想をお待ちしております。
担当営業・ケアアドバイザーにお伝えいただくか、下記宛先まで、
お手紙または FAX でお寄せください。

〒108-8575
東京都港区三田 3-5-27 住友不動産三田ツインビル西館
ユニ・チャーム株式会社
TEL. 03-6722-1015 FAX. 03-6722-1042

ライフリーサイト
<http://www.unicharm.co.jp/healthcare/>
尿もれケアナビ
<http://www.nyoucare.jp/>
排泄ケアナビ
<http://www.carenavi.jp/>



2017年3月発行